



先日の午後、社会教育の大先輩でもある安芸地教連会長とお話する機会に恵まれ、本当に嬉しいお話をいただきました……。

「事務所の社教として、各市町村に向けて県内外の情報や取り組みを紹介してみんかよ？遠慮することはいらん、時に問題提起もしたらえい。おまんらに管内の教育について今以上の啓発を期待しちゅうぞ！」

私たちのなかには、「仕事が増える？」という想いと、「せっかくのお話だから。」という想いが交錯しました。この日は夜の部も続けて行われ、更に熱い想いをお聞きするうちに、やらねばなるまい、やってやろうと我々の心は急に太くなっていきました。まさに酒の力は偉大なり、社教の大先輩の話術は魔術なり、です。

というわけで、今回から「東部教育事務所社教便り」として私たちの想いを込めて執筆することになりました。毎号の内容を考えるにあたって、社会の窓を大きく開いて情報をキャッチし、時にその窓から新鮮な空気ももらいながら、教育というものについて今一度見つめ直していきたい。そういう思いから、タイトルは「社窓」に決めました。これから管内に精一杯の情報発信と問題提起ができれば、と思っております。よろしく願いいたします。

今回はそのひとつの切り口として、財政の面から社会教育を捉えてみました。

### 【1】文部（科学）省と高知県教委（学校教育・生涯学習）の予算

	文部（科学）省生涯学習予算	高知県教委学校教育予算	高知県教委生涯学習予算
平成 3年度	45,275百万円 (約453億円)	6,865,668千円 (約69億円)	1,648,907千円 (約16億円)・・・①
平成18年度	34,293百万円 (約343億円)	4,403,827千円 (約44億円)	495,016千円 (約5億円)・・・②

### 【2】高知県教委の生涯学習関連予算の内訳

平成3年度社会教育の充実強化・・・①		平成18年度生涯学習の推進・・・②	
○生涯学習推進体制の整備・・・約2.8%	(45,980千円 約4600万円)	○生涯学習の支援・・・約0.7%	(3,624千円 約360万円)
○社会教育活動の振興・・・約11.1%	(183,513千円 約1億8000万円)	○社会教育活動の推進・・・約2.5%	(12,443千円 約1200万円)
○社会教育施設の運営及び施設整備・・・約86.0%	(1,419,414千円 約14億2000万円)	○社会教育施設の整備充実・・・約96.8%	(478,949千円 約4億8000万円)

ご存じのように、昭和59年から62年にかけての臨時教育審議会答申で、「生涯学習体系への移行」が提言され、平成2年には、「生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律」が制定されました。同年生涯学習審議会が発足し、生涯学習の振興計画や市町村協議会も設けられ、それにとまなう生涯学習関連事業も繁栄の時期を迎えました。上記の当時の予算にもそれが顕著に現れています。

しかし、昨今の財政難、現在の高知県も厳しい状況であり、その中でも県の生涯学習関連予算は平成3年度から3分の1以上のマイナスです。さらにその内訳を探ると、社会教育施設整備充実費の占める割合が約96.8%であり、本来の推進体制の整備や社会教育活動にかかるお金はまさに風前の灯火です。

(例：H3年度PTA地域活動振興事業費→約1000万円 H18年度同事業費→約40万円)

社会教育施設の整備はとても大切であり、財政の厳しい折でもその管理維持費等はある一定やむを得ないでしょう。施設の統廃合も見据えた検討も県は進めています。

しかし、一定の生涯学習活動推進費は実際に活動するためにはならないライフラインなのです。現在県単予算のみで確保できないことから、国の様々な生涯学習関連事業を前にも増して詳しく紹介させていただき、少しでも各市町村への支援ができるよう努めているのが現状です。

提言させていただければ、国の関連事業・予算を県に今以上に移譲し、県や各市町村裁量でそれ相応の事業と取り組みを進めることはできないか？ある方のことばを借りれば、

「国の作る3種類の小さな家庭教育手帳を全国の家庭に配布して果たしてどれだけの人が読むだろうか？その予算分を少しでも市町村に還元してもらえらるなら、有効に使わせてもらうのだが。」

ちなみに、手帳の作成配布にあたっての国予算は、1億7千万円。